

1. 日 時 '11年1月11日(火) 15:30~17:20
2. 場 所 日本原子力産業協会第2会議室
3. 出席者 田中、神田、小嶋(石橋委任)、今村、奈良、三角、武田、中村、岡澤、渡邊、矢作、石川(記)
(順不同敬称略)、小沢(20年誌編集メンバーとして参加)
4. 議 題 第134回幹事会議事録確認
平成22年度活動計画および実績について
QASGニュース執筆計画
講演会・見学会計画の状況について
20年誌進捗確認
第21回総会について
その他
5. 配布資料 1) 品質保証研究会 第134回幹事会議事録(案) [奈良]
(幹135-) 2) 品質保証研究会 平成22年度活動計画及び実績 [小嶋]
3) QASGニュース 平成22年度~23年度 執筆計画及び実績 [小嶋]
4) 第38回講演会計画状況 [小嶋]
5) 第36回見学会 会計報告 [田中]
6) 品質保証研究会 20年活動成果まとめについて [奈良]
7) 20年誌 巻頭言 [渡邊]
8) 第1グループ 20年誌目次 [武田]
9-1) 20年誌見積 [今村]
9-2) 20年誌見積 [田中]

6. 議事概要

- 6.1 資料(幹135-1)に基づき、第134回幹事会議事録(案)の内容を確認し、承認した。
 - ・6.5項の講演会の回数の誤植を訂正(37→38)する。
 - ・6.6項について、QASGニュースのHP掲載が完了したことを確認した。
- 6.2 資料(幹135-2および3)に基づき、平成22年度の活動計画およびQASGニュース執筆計画について確認した。
 - ・QASGニュース第73号の発行を第38回講演会の日程を考慮して、3月に変更した。
- 6.3 資料(幹135-4)に基づき、第38回講演会計画を確認した。
 - ・開催日は3/2(水)とする。
 - ・会場は、TKPとし、14:00~17:00で予約する(担当; 岡澤幹事)。あわせて必要な資材を申し込む。
 - ・当日のスケジュールは、講演; 14:30~16:00 質疑応答(情報交換); 16:10~17:00とする。
 - ・講演内容は、高信頼性組織の実現として、技術的側面・人間的側面についての理論と実践、最新状況等を加味いただけるようお願いする(担当; 小嶋幹事)。
 - ・講演依頼、会員への案内等の前回講演会のひな形を奈良幹事から小嶋幹事へ送付する。
 - ・講演出欠回答受領のためのメール転送設定を行う。
 - ・講演録担当は、写真撮影も含め矢作監事が担当する。尚、参加出来ないときは、代理を調整すること。
 - ・謝金は¥50,000-とする。
- 6.4 資料(幹135-5)に基づき、第36回見学会会計報告があり、承認した。
- 6.5 資料(幹135-6~9)に基づき、20年活動成果まとめについて確認した。
 - 1) 表紙 モチーフを担当の中村幹事に提案する。
 - 2) 巻頭言・祝辞・激励の言葉(担当; 田中副会長)
 - ・依頼先と担当、進捗についてリスト化する。
 - ・巻頭言は、資料(幹135-7)に一部編集上の修正(普段/不断、彼(女)→人達)を加えて決定版とする。

3) 活動内容(担当 ; 小嶋幹事)

- ・20年間の活動のあゆみ ; 奈良幹事から小嶋幹事へ過去作成ファイルを転送し、適宜加筆修正する。
- ・総会特別講演(担当 ; 小嶋幹事)、講演会(担当 ; 小嶋幹事)、見学会(中村幹事)をとりまとめ、QASGニュースにリンクをはる(担当 ; 武田幹事)。
リンクは QASGニュース当該記事のページまでとする。
- ・QASGニュースは、紙発行分の PDF 化を検討する(担当 ; 武田幹事)。原版は必要あれば奈良幹事より送付。
- ・総会、幹事会活動(担当 ; 奈良幹事)を一覧表化する。
- ・添付資料の進捗状況(会則、歴代役員・顧問は完了 年表、世界の原子力品質保証基準の相互関係は 2 月頃完成予定)を確認した。
- ・各研究会活動報告は、3 月までにまとめる。

4) CD 作成依頼先は次回(2/25)に決定する。

6.6 第 21 回通常総会について確認した。

- ・日程は、6/6 の週 or 5/23 の週とし、関村会長のご都合を優先して決定する(その後の調整で、6/7(火)で決定した)。
- ・特別講演は、脳科学他を候補として渡邊監事を中心に検討することになった。

7. 今後の予定

- ・20 年誌編集会議 ; 2 月 25 日(金) 13 : 30 ~
- ・次回幹事会 ; 3 月 23 日(水) 15 : 00 ~

以上